

32) 保健医療行政（地域保健）研修プログラム

研修医氏名：	所 属：名古屋掖済会病院
研修期間： 年 月 日～ 年 月 日	評価日： 年 月 日
研修施設：	指導医：

I. 一般目標

研修医は患者を取り巻く社会的、家庭的環境と精神的状態に配慮し、安全で安心な医療を行うため、地域保健医療の様々な形態、機能を十分に理解する。

施設に入院するまで、あるいは退院後の患者に対して、老人保健施設・介護保険施設等が行う医療活動の実態を学ぶことにより、医療の全体像を理解する。病院では体験できない患者への接し方を学習する。

A 基本姿勢

- 1) 研修医は地域における保健所、特別養護老人ホーム、老人保健施設などの介護保険施設、検診・健診センター、血液センター等の機能を系統的に理解できる。
- 2) 研修医は患者がどのような地域保健サービスを必要としているかを識別し、地域の機能的連携を実施できる。
- 3) 研修医は患者の訴えを傾聴し、基本的身体診察法を基に病態を推定し、連携医療や在宅医療の必要性、緊急性、慢性病態かを診断、治療方法を理解する。
また、積極的に研修する意欲を持ち、他職種の人に礼節を持って接し、共同で仕事ができ、医師としての患者への態度が適切である。

B 診察

- 1) 基本的診察法と社会的、家庭的環境、精神的状態に配慮した総合的診察の仕方を学び、理解する。
Problem Oriented System (POS) (身体的・社会的・心理的問題解決システム)を理解する。

C 地域連携

- 1) 介護保険の制度を理解し、そのための主治医意見書を適切に記載でき、在宅療養に対応したり介護保健施設との連携を理解できる。
- 2) 市町村、自治体、保健所、福祉施設などとの連携と利用の相談ができる。肺結核、感染症、食中毒の届出義務を述べることができる。
- 3) 各種診断書、証明書を適切に発行できる。

D 危機管理

- 1) 医療事故の予防と対策について理解し、実施できる。
- 2) 院内感染症への対策を理解できる。

II. 行動目標

医療人として必要な基本姿勢・態度

II- (1) 患者-医師関係

患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立するために、

研修医評価

指導医評価

	1) 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。	A B C D	A B C D
	2) 医師、患者・家族がともに納得できる医療を行うためのインフォームド・コンセントが実施できる。	A B C D	A B C D
	3) 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。	A B C D	A B C D

II- (2) チーム医療

医療チームの構成員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなる

他のメンバーと協調するために、

研修医評価

指導医評価

	1) 指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる。	A B C D	A B C D
	2) 上級及び同僚医師や他の医療従事者と適切なコミュニケーションがとれる。	A B C D	A B C D
	3) 同僚及び後輩へ教育的配慮ができる。	A B C D	A B C D
	4) 患者の転入・転出に当たり、情報を交換できる。	A B C D	A B C D
	5) 関係医療機関や諸団体の担当者とコミュニケーションがとれる。	A B C D	A B C D

II- (3) 問題対応能力

患者の問題を把握し、問題対応型の思考を行い、生涯にわたる自己学習の習慣を身に付けるために、

研修医評価

指導医評価

	1) 臨床上的の問題点を解決するための情報を収集して評価し、当該患者への適応を判断できる。 (EBM=Evidenced Based Medicineの実践ができる)	A B C D	A B C D
	2) 自己評価及び第三者による評価を踏まえた問題対応能力の改善ができる。	A B C D	A B C D
	3) 臨床研究や治験の意識を理解し、研究や学会活動に関心を持つ。	A B C D	A B C D
	4) 自己管理能力を身に付け、生涯にわたり基本的臨床能力の向上に努める。	A B C D	A B C D

II- (4) 安全管理

患者及び医療従事者にとって安全な医療を遂行し、安全管理の方策を身に付け、危機管

理に参画するために、

研修医評価

指導医評価

	1) 医療を行う際の安全確認の考え方を理解し、実践できる。	A B C D	A B C D
	2) 医療事故防止及び事故後の対処について、マニュアルなどに沿って行動できる。	A B C D	A B C D
	3) 院内感染対策 (Standard Precautionを含む) を理解し、実施できる。	A B C D	A B C D

II- (5) 症例呈示

チーム医療の実践と自己の臨床能力向上に不可欠な、症例呈示と意見交換を行うために

研修医評価

指導医評価

	1) 症例呈示と討論ができる。	A B C D	A B C D
	2) 臨床症例に関するカンファレンスや学術集会に参加する。	A B C D	A B C D

II- (6) 医療の社会性

医療の持つ社会的側面の重要性を理解し、社会に貢献するために、

研修医評価

指導医評価

	1) 保健医療法規・制度を理解し、適切に行動できる。	A B C D	A B C D
	2) 医療保険、公費負担医療を理解し、適切に診療できる。	A B C D	A B C D
	3) 医の倫理・生命倫理について理解し、適切に行動できる。	A B C D	A B C D
	4) 医薬品や医療用具による健康被害の発生防止について理解し、適切に行動できる。	A B C D	A B C D

Ⅱ- (7) 研修評価

研修全般に対する総合評価		研修医評価				指導医評価			
	1) 仕事の処理	A	B	C	D	A	B	C	D
	2) 報告・連絡	A	B	C	D	A	B	C	D
	3) 患者への接し方	A	B	C	D	A	B	C	D
	4) 規律	A	B	C	D	A	B	C	D
	5) 協調性	A	B	C	D	A	B	C	D
	6) 責任感	A	B	C	D	A	B	C	D
	7) 誠実性	A	B	C	D	A	B	C	D
	8) 明朗性	A	B	C	D	A	B	C	D
	9) 積極性	A	B	C	D	A	B	C	D
	10) 理解・判断	A	B	C	D	A	B	C	D
	11) 知識・技能	A	B	C	D	A	B	C	D

C. 特定の医療現場の経験

Ⅲ-C- (1) 地域保健・医療

地域保健・医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、		研修医評価				指導医評価			
	1) 保健所の役割（地域保健・健康増進への理解を含む）について理解し、実践する。	A	B	C	D	A	B	C	D
	2) 社会福祉施設等の役割について理解し、実践する。	A	B	C	D	A	B	C	D

必修項目：へき地・離島診療所、中小病院・診療所、保健所、介護老人保健施設、社会福祉施設、赤十字社血液センター、各種検診・健診の実施施設等の地域保健・医療の現場を経験すること
--

Ⅲ-D- その他（地域保健の場において）

(1) 基本姿勢について		研修医評価				指導医評価			
	1) 地域における老人保健施設等の役割について理解できる。	A	B	C	D	A	B	C	D
	2) 地域における介護保険制度が理解できる。	A	B	C	D	A	B	C	D
(2) 態度、接遇について		研修医評価				指導医評価			
	1) 時間、約束を守る（遅刻、早退、欠勤時の連絡など）	A	B	C	D	A	B	C	D
	2) 患者、家族への思いやり	A	B	C	D	A	B	C	D
	3) 上司、コメディカルとの協調性	A	B	C	D	A	B	C	D
	4) 研修への意欲、積極性、責任感	A	B	C	D	A	B	C	D
	5) 接遇、服装、身だしなみ	A	B	C	D	A	B	C	D
(3) 知識と技能について		研修医評価				指導医評価			
	1) 患者、家族などとのコミュニケーションがとれる	A	B	C	D	A	B	C	D
	2) 患者の問題点を把握し、理解することができる	A	B	C	D	A	B	C	D

評価方法：A. B. C. Dの4段階とする A（優）：確実にできる、自信がある B（良）：だいたいできる、たぶんできる C（可）：あまり自信がない、ひとりでは不安である D（不可）：できない（経験なしを含む）

ゴシック体：Ⅲ-D-その他は地域保健研修の場において経験が必要とされる項目

1. 研修指導体制

- 1) 各保健所、介護老人保健施設による。

2. 研修方略

- 1) 基本は講義、OJTを中心に研修を行う。
- 2) 各保健所、介護老人保健施設による。
- 3) 研修開始前に、研修先の「研修方略」を臨床研修センターに取りに来ること。

3. 週間スケジュール

- 1) 各保健所、介護老人保健施設による。
- 2) 研修開始前に、研修先のスケジュール表を臨床研修センターに取りに来ること。

4. 研修評価項目

- 1) 自己評価と指導医評価を規程に従い、研修終了後に入力する。形成的に評価を行う。
- 2) 共通Aの評価表を規定に従い入力する。

地域研修協力施設に対する研修医の評価アンケート

1. 研修前の目的は達成されましたか。
2. 指導医・スタッフの指導は理解できましたか。
3. 指導医・スタッフから熱心に指導して頂けましたか。
4. 一番の収穫（嬉しかった事、意外であったことなど）、また、今後改善してほしい点、要望など。

1. 研修前の目的は達成されましたか。
A：十分達成 B：まずまず達成 C：やや不十分 D：達成できなかった

2. 指導医・スタッフの指導は理解できましたか。
A：大変よく理解できた B：よく理解できた
C：理解できない部分があった D：理解できなかった

3. 指導医・スタッフから熱心に指導して頂けましたか。
A：大変よかった B：よかった C：やや不十分 D：不十分

4. 一番の収穫（嬉しかった事、意外であったことなど）、また、今後改善してほしい点、要望などを下記に記載してください（必須）。